

県立高等学校適正化実施計画に関する主な御意見・御質問とそれに対する県教育委員会の考え方

Q 1 県立高等学校適正化実施計画全般について

- ① 県立高等学校適正化実施計画案の策定に向けてどのように議論を進めたのですか。
- ② クラス数や募集人数を減らさず、なぜ学校数を減らすのですか。
- ③ 普通科が急激に減り、普通科に行きたい生徒は困ることがないのですか。
- ④ 平城高等学校が再編の対象となったのはなぜですか。
- ⑤ 奈良高等学校が平城高等学校校地に移転するのはなぜですか。
- ⑥ 平城高等学校、西の京高等学校、登美ヶ丘高等学校の生徒や保護者へ、教育委員会としての説明はないのですか。
- ⑦ 再編の対象校へ入学した場合、部活動はどうなるのですか。

Q 2 新しく設置する学校・学科、コースの学校生活や教育内容について

- ① 現中学生への説明は、どのように行いますか。
- ② 国際高等学校とはどのような特徴をもった学校になりますか。
- ③ 国際高等学校では開校から2年間、同じ校舎で二つの学校の生徒が学ぶことになりますが、学校行事や部活動はどうなるのですか。
- ④ 県立大学附属高等学校の設置者は公立大学法人ですが、県立高等学校と比べ教育内容などに違いはあるのですか。

【県立高等学校適正化実施計画全般について】

Q 1 - ①

県立高等学校適正化実施計画案の策定に向けてどのように議論を進めたのですか。

県教育委員会では、平成26年度から3年間、事務局内で再編後の課題の検証を行った上で、平成29年10月から月1回程度、教育委員会臨時会を開催しました。

議論の参考とするために、県立高等学校各学科の関係者等からのヒアリングや、中学校校長や小・中学校PTA会長を対象とした地域別協議会を県内3地域でそれぞれ2回、中学校長やPTAに対するアンケートを実施し、幅広い意見を聴取しています。

それらの意見や10年ごとに改訂される高等学校学習指導要領等も踏まえながら、高等学校教育の質向上と再編成により「魅力と活力あるこれからの高校づくり」を推進するため、「県立高等学校適正化推進方針～高等学校教育の質向上と再編成のために（案）」をとりまとめ、平成30年2月議会で報告しました。

その後、3月9日から4月6日までの約1か月間パブリックコメントを実施しました。結果、68名92件のいただいた意見を踏まえ、平成30年4月13日に「県立高等学校適正化推進方針～高等学校教育の質向上と再編成のために～」を策定しました。

方針に基づき、教育委員会臨時会で具体的実施計画について議論を行い、「県立高等学校適正化実施計画（案）」をとりまとめ、6月8日に、第1回奈良県総合教育会議で報告の後、公表しました。

※パブリックコメントの内容は平成30年度第2回教育委員会臨時会の資料として閲覧可能です。

URL <http://www.pref.nara.jp/49928.htm>

Q 1 - ②

クラス数や募集人員を減らさず、なぜ学校数を減らすのですか。

今後10年間で、約1,000人の入学者減となります。40人学級でいうと約25クラス分ということになります。学級数減を大規模、中規模校へ分散させる方法では、各学校の学校規模が小さくなり、学校行事や部活動、学習活動での制約が考えられるため、一定の規模を維持させることが必要であると考えています。

Q 1 - ③

普通科が急激に減り、普通科に行きたい生徒は困ることがないのですか。

今回の適正化実施計画においては、「魅力と活力あるこれからの高校づくり」のための学校再編を行うこととしており、国際科や情報科、総合学科を設置するほか、専門教育の充実を図るなど、学校の特色化をさらに推進します。

一方で、普通科に関しては、郡市単位で1校は維持することとしており、一定数を継続して確保します。また、普通科が減ると高等学校卒業後進学を希望している生徒のニーズに答えることができるなくなるのではないかと御指摘もありますが、普通科だけでなく国際科や理数科などにおいても、高等学校卒業後に進学を希望する生徒のニーズに十分答えることができると考えます。

(平成30年11月16日 追記)

Q 1 - ④

平城高等学校が再編の対象となったのはなぜですか。

平成30年4月13日に策定した「県立高等学校適正化推進方針～高等学校教育の質向上と再編成のために～」では、時代の変化に対応した新しい高校づくりとして、「生徒急増期に設置した普通科高等学校の再編を実施して、

国際バカロレアの認定を目指す高等学校や県内大学と連携し地域の諸課題に関する学習を行う高等学校を設置する」こととしました。

この方針のもと、県立高等学校適正化実施計画（案）を策定し、奈良市内の生徒急増期に設置した普通科高等学校である、西の京高等学校、平城高等学校及び登美ヶ丘高等学校を（仮称）県立国際高等学校、（仮称）奈良県立大学附属高等学校とすることとしました。

Q 1 - ⑤

奈良高等学校が平城高等学校校地に移転するのはなぜですか。

前問のとおり、奈良市内において普通科校3校を2校に再編することとなり、1校が空き校地となります。登美ヶ丘高等学校校地については、現在6クラス規模で開校予定としている国際高等学校の規模に合うこと、また、現在、西の京高等学校が地域づくりに関する学習を展開していることから地域づくりに関する学科を有する県立大学附属高等学校の設置場所として西の京高等学校校地がふさわしいと考えました。その上で、奈良高等学校の移転先としては近隣であること、現在の規模に適していることなどから平城高等学校校地を選定することとしました。

（平成30年11月16日 追記）

Q 1 - ⑥

平城高等学校、西の京高等学校、登美ヶ丘高等学校の生徒や保護者へ、教育委員会としての説明はないのですか。

当該3校の生徒及び保護者の皆様に対しましては、7月10日に教育長名の文書で説明を行いました。

今後も関係者からの意見聴取を行うとともに、要望があれば、説明会等の実施も検討してまいりたいと考えています。

なお、実施計画や今後の学校の在り方に関する生徒の意見を聞くため、当該3校を含む再編等の対象校10校の生徒と教育長（再編、統合対象校は教育委員も1名同席）との懇談会を実施しました。

Q 1 - ⑦

再編の対象校へ入学した場合、部活動はどうなるのですか。

再編関係校の部活動の大会参加等に関しては、前回再編時においては、単独での参加、複数校で合同チームを組んでの参加など、活動の内容に応じて方法を決定していました。具体的には、同一場所で2つの学校が併存する場合に合同で活動することや、単独では大会に参加できない場合に他の学校と合同で活動することなどが考えられます。

(平成30年11月16日 追記)

【新しく設置する学校・学科、コースについて】

Q 2 - ①

現中学生への説明は、どのように行いますか。

中学3年生には、平成31年度奈良県立高等学校入学者選抜に関する情報をお伝えしています。また、中学2年生・1年生には、適正化実施計画に関する情報をまとめたリーフレット「魅力と活力あるこれからの高校づくり」を配布しました。リーフレットは県教育委員会のホームページでご覧いただくことができます。

(URL <http://www.pref.nara.jp/secure/189337/NewHighSchoolLerflet.pdf>)

なお、中学生の保護者の方には、PTA協議会等からのご要望に応じて説明会等を実施してまいります。

(平成31年 2月 6日 一部修正)

Q 2 - ②

国際高等学校とはどのような特徴をもった高等学校になりますか。

2020年に開校を予定している国際高等学校では国際科を設置し、ネイティブ教員の授業やICTの活用、第二外国語の習得などにより、英語力はもちろん、グローバルな課題についての探究活動を通して、自ら学ぶ力を身に付けることを目的としています。また、文系科目・理系科目をバランスよく学ぶことで、文系、理系どちらの大学も選択できるだけでなく、海外の大学にも進学することができるような教育内容を検討しています。

また、2023年に県立中学校を併設し、2026年度以降に国際バカロレア機構の教育プログラムを1クラス程度で、中学校から高等学校へと順次実施することを目指します。

なお、教育内容等については、県立国際高等学校検討協議会において、コース設定や中学校の設置等とともに、英語による教科指導についても検討しているところです。また、リーフレットを作成するほか、説明会を実施するなど、中学生や保護者の方にできるだけ速やかにお伝えしたいと考えています。県立国際高等学校検討協議会の内容は、県教育委員会ホームページでご

覧いただけます。(URL <http://www.pref.nara.jp/3563.htm>) また、県立国際高等学校の説明会を、2月23日(土)午前には郡山高等学校において、2月24日(日)午前には畝傍高等学校において行う予定をしています。

(平成31年 2月 6日 一部修正)

Q2-③

国際高等学校では開校から2年間は同じ校舎で二つの学校の生徒が学ぶこととなりますが、学校行事や部活動はどうなるのですか。

現在、国際高等学校の学校行事は検討中であり、具体的な行事の内容について示すことはできませんが、合同で実施することも含めて、登美ヶ丘高等学校との協議の上、決まることとなります。

部活動については、国際高等学校の特色が活かせる部の設置を検討しています。登美ヶ丘高等学校と国際高等学校両方に設置される部については、可能な限りともに活動していくことになると考えています。

なお、県立国際高等学校検討協議会では、学校行事や部活動等についても協議しており、その内容等は議事録で確認いただくことができます。詳しくは、県教育委員会ホームページの「県立国際高等学校について」をご覧ください。

(URL <http://www.pref.nara.jp/3563.htm>)

(平成31年 2月 6日 追記)

Q2-④

県立大学附属高等学校の設置者は公立大学法人ですが、県立高等学校と比べ教育内容などに違いはあるのですか。

県立大学附属高等学校は、公立大学法人奈良県立大学が設置する学校として2021年4月に開校される予定です。これまでも県立の高等学校と県立大学との間で様々な連携が行われてきましたが、公立大学法人が学校を設置することで、これまで以上に大学教育の知見を活かした特色ある高校運営が行われると考えています。

なお、現在、県立大学附属高等学校の開校に向けて、教育目標、高大連携カリキュラムなどの同校の教育内容や、管理運営に関することについて、奈

良県立大学、県地域振興部、県教育委員会の職員で構成される「県立大学附属高等学校設置検討協議会」で協議が行われています。

(平成31年 2月 6日 追記)

皆さんに本実施計画を理解いただけるよう、今後も皆さんから寄せられる御質問や御意見をとりとまとめ、随時、内容を更新してまいります。

平成30年10月15日 掲載

平成30年11月16日 追記

平成31年 2月 6日 追記

担当：教育振興大綱推進課